

資料1-2 「第2期八雲町総合計画実施計画書」の説明

- 1ページから5ページは、前期5か年の事業費合計と年度ごとの事業費を掲載した総括表となっております。
- 5ページ上段の表の「前期全体計画」欄に記載の合計額が平成30年度から令和4年度までの5か年の合計で、270億3,744万5,000円となっております。
- 同じく、5ページ中段の左側に計画額の年度別の推移を示す折れ線グラフを掲載しております。
- 計画額の推移の特徴としましては、平成30年度は56億9,500万円となっており、ふるさと応援寄附金奨励事業、総合病院医療機器整備事業、汚水処理施設共同整備事業などが主な事業となっております。
- 令和元年度は、61億1,200万円となっており、ふるさと応援寄附金奨励事業、学校給食センター改築事業、汚水処理施設協働整備事業が主な事業となっております。
- 令和2年度は78億9,700万円と伸びておりますが、研修牧場施設整備事業が主な要因となっております。
- 令和3年度以降は事業費が減少しておりますが、役場新庁舎整備事業の事業費が現段階では算定できなかったため令和2年度分までしか入れていないこと、町営住宅建替事業が長寿命化計画策定中であるためこちらも令和2年度までしか事業費を計上していないことなどによる減少です。
- 5ページ右側には、基本目標別の推移を示す折れ線グラフを掲載しております。
- 第1章は都市基盤整備の分野であり、令和元年度が多くなっておりますが、これは汚水処理施設協働整備事業や町営住宅建て替え事業によるものです。
- 第2章は産業振興の分野であり、令和2年度が突出しておりますが、前述のとおり研修牧場施設整備事業によるものです。
- 第3章は医療・福祉の分野で、病院の医療機器整備や保育園整備などが含まれておりますが、大きな増減はありません。
- 第4章は教育分野で、令和元年度、令和2年度が大きくなっておりますが、学校給食センター改築事業、落部小学校大規模改修事業によるものとなっております。
- 第5章は協働と行財政運営の分野となっており、平成30年度が突出しておりますが、これはふるさと応援寄附金奨励事業によるもので、令和元年度以降は法改正により募集経費が寄附金額の5割までとされたことと、寄附金額が平成30年度は特別多かったことにより、令和元年度以降は減少傾向にあります。
- 6ページから10ページについては、令和2年度から令和4年度までの3か年の総括表となっております。各年度の事業費と計画初年度からの実績という欄に平成30年度の実績と令和元年度の実績見込みの合計を記載し、進捗率を掲載しております。
- 11ページと12ページは、昨年度策定した実施計画には登録していなかった新たな事業を掲載しております。大きな事業としましては、12ページ中段に記載のGIGAスクールネットワーク整備事業、12ページ下から3行目の地域会館等建替事業などとなっております。
- 13ページと14ページには、実施期間を変更したもの、計画から削除したものなどを掲載しております。
- 15ページ以降は、各事業の詳細について掲載しております。